

美幌版総合戦略の効果検証方法について（創生推進委員用）

平成28年7月22日

検証に係る様式については、「美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告（各事業における実績額及び事業効果等）」を使用します。

当該様式は、内閣府が通知した「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の効果検証について（平成28年6月17日付け事務連絡）」の様式を準用しています。

記

1 検証時期

毎年7月末までに外部有識者の検証会を行うこととします。

2 検証する事業について

優先的に地方創生関係交付金を活用した事業の検証を行います。

その他については、後日検証を行うこととします。

3 検証に係る各項目の留意事項

（1）⑨以外について

事業を実施した担当グループが記載しています。

（2）⑤（本事業終了後における実績値）の「事業効果」について

事業を実施した担当グループが記載し、「事業効果」について自己診断を行います。

「事業効果」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

- | |
|--|
| <p>①本事業は地方創生に非常に効果があった（指標が目標値を上回ったなどの場合に選択）</p> <p>②本事業は地方創生に相当程度効果があった（目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合に選択）</p> <p>③本事業は地方創生に効果があった（目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合に選択）</p> <p>④本事業は地方創生に対して効果がなかった（実績値が本事業開始前の数値よりも悪化している等の場合に選択）</p> |
|--|

（3）⑨（外部有識者からの評価）について

創生推進委員が評価していただく箇所です。

①～⑤及び⑦の項目を確認していただき、それを踏まえて評価をお願いします。

「事業の評価」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

- | |
|---|
| <p>①本事業が地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった</p> <p>②本事業は地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えなかった</p> |
|---|

「外部有識者からの意見」は、自由記載になっています。「有効であった」場合は良かった点を、「有効とは言えなかった」場合は何が良くなかったのか、何が原因でどのような改善策が考えられるかをご意見願います。

(4) ⑩（実績値を踏まえた事業の今後について）について

現在記入されているものは、事業を実施した担当グループによる評価です。

実績に対する評価を踏まえた上で、当該⑩の項目を変更することが必要であれば、その旨ご意見願います。

「今後の方針」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

- ①事業が効果的であったことから、取組の追加等更に発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）を行う
- ③特に見直しをせず、事業を継続する
- ④継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ⑤当初の予定通り事業を終了した

「今後の方針の理由」は、自由記載になっています。方針についてこうした方が良いとかこうした考えを入れるべきなどのご意見があれば、ご指摘願います。